

mini-PAT 製作方法

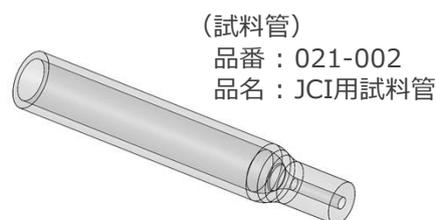
JCI-77 は試料管に「吸着剤」を詰めた「mini-PAT」を使い、VOC等のガス体試料をGC, GC/MS に導入する事が出来ます。

JCI-77 の試料管に「吸着剤」をセットする方法をご紹介します。

1. 試料管をご準備します。

POINT!!

作業中は手袋を着け、ほこり、汚れ等に注意して作業を行ってください。

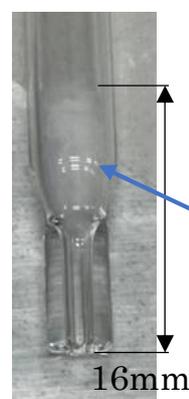


2. 試料管に石英ウールを入れます。

試料管の細口側の端面から16mmになる様に、石英ウールを入れてください。

POINT!!

石英ウールは、いろいろなものが市販されていますが、弊社で準備した右の示す石英ウールを推奨いたします。(コンタミ少で焼き出しが容易)

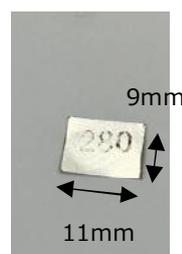


3. パイロホイルを準備します。

吸着剤を加熱したい温度のパイロホイルを選び、縦方向を11mm、横方向を9mmにカットしてください。(9mm×11mm)

POINT!!

加熱脱離したい温度は、セットしたパイロホイルの温度になりますので、加熱脱離したい温度のパイロホイルを選択してください。



吸着剤によって加熱脱離の温度は任意ですが、吸着剤が分解しない温度を選択します。TENAX剤を使用される場合は、280℃のパイロホイルを推奨致します。

4. パイロホイルを成型します。

外径 $\Phi 4.6\text{mm}$ の治具(例えば「ドリル」)を使い、パイロホイルを巻き付けて成型してください。

POINT!!

試料管の内径は若干の誤差がありますので、それに合わせて成型してください



5. パイロホイルを入れます。

成型したパイロホイルが、試料管の上から約14mmになる様に調整しながら、石英ウールに押し付けるように入れてください。

POINT!!

パイロホイルは、試料管の内壁にバネが広がって密着するようなイメージで入れてください



高周波誘導加熱する際に高周波コイルとの位置を合わせる必要があります、このパイロホイルの位置は正確に14mmで調整してください。

6. 吸着剤を入れます。

試料管に吸着材を詰めてください。(パイロホイルからはみ出さない様に入れてください) 成型したパイロホイルは、パイロホイル両端同士が接触しない様に必ず隙間を開けてください。

POINT!!

両端が接触していると高周波誘導加熱の際にスパークしてしまいます。



両端面が接触しないようにしてください。

7. 石英ウールで蓋をして、ストッパーで押えます。

吸着剤を詰めた上に石英ウールを入れて吸着剤を上から押さえてください。次に金メッキしたストッパー (右記記載) で、さらに石英ウールの上から押さえてください。

これでmini-PATの吸着剤を詰める作業は完了です。

POINT!!

ご使用になれる前に、ガスクロのオープンなどで焼き出しをしてからご使用ください。

mini-PATの製作は完了です。



(金メッキしたストッパー)
品番：021-118
品名：mini-PAT用
吸着剤押え(5個入)

mini-PATの製作が完了した状態。